

新庁舎建設の 基本設計がまとまりました



◎庁舎建設担当室 ☎0848・67・6022

内装計画

自然光を最大限に取り込み、明るい窓口・待合空間とします。また、機能面や安全面に配慮し、誰もが使いやすい庁舎づくりを行います。



1階エントランスロビー・窓口(イメージ)

防災計画

さまざまな災害に対し、安全性の確保と庁舎としての機能を維持できる庁舎づくりを行います。

- ・大地震時に建物の揺れを大幅に低減する免震構造を採用し、建物や設備などへの損傷や備品の転倒を防止
- ・1階床を津波の浸水想定高さよりも高く設定
- ・発電機などの重要設備を屋上・最上階に設置
- ・非常時における電気・給排水・通信などの機能確保による災害対策機能の充実

市は、市役所本庁舎(昭和40年竣工)を現在地で建て替える新庁舎建設事業を進めています。

昨年7月に策定した新庁舎建設基本計画に基づき市民の皆さんからの意見(パブリックコメント)やワークショップでの提案などを参考にシンプルで機能的な新庁舎の基本設計がまとまりました。

今後、詳細な設計(実施設計)を行い、平成31年春の開庁、平成32年3月の駐車場整備を含む事業全体の完成をめざします。

建築概要

| | |
|------|--------------------------------------|
| 規模 | 地上8階、塔屋1階 |
| 構造形式 | 基礎免震構造、RC造+一部鉄骨造 鋼管コンクリート杭+RC杭25m |
| 建築面積 | 1,934.97㎡ |
| 延床面積 | 12,252㎡ |
| 最高高さ | 39.0m |
| 駐車台数 | 90台(思いやり駐車場4台を含む) |

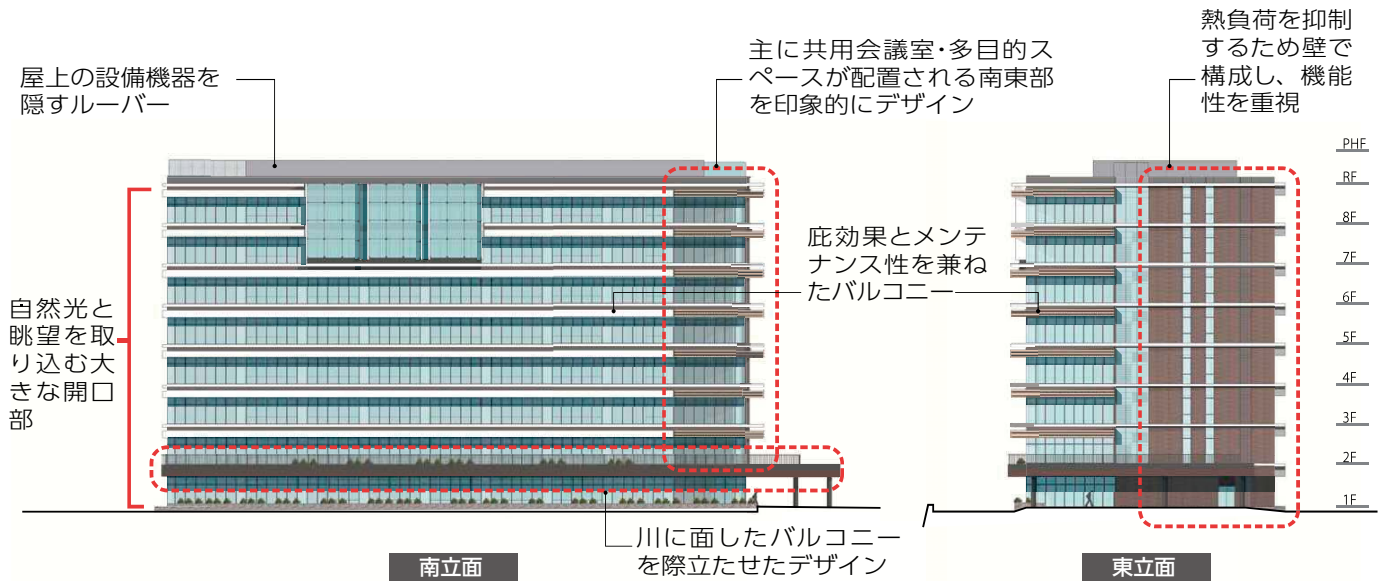
環境配慮計画

自然エネルギーを有効に活用するとともに、省エネ手法を採用し環境にやさしい庁舎づくりに取り組みます。

- ・自然換気や通風・自然採光の積極的利用
- ・太陽光発電システムの設置
- ・雨水利用
- ・庇を兼ねたメンテナンスバルコニーひさしの設置
- ・断熱効果の高いLow-Eペアガラスの採用
- ・高効率なLED照明の採用

立面計画

市民利用エリアとなる南面は自然光と眺望を取り込む大きな開口部にするとともに、各フロア外周にメンテナンス用バルコニー（日差しを遮る庇^{ひさし}効果）を設置し、機能性・メンテナンス性に配慮します。

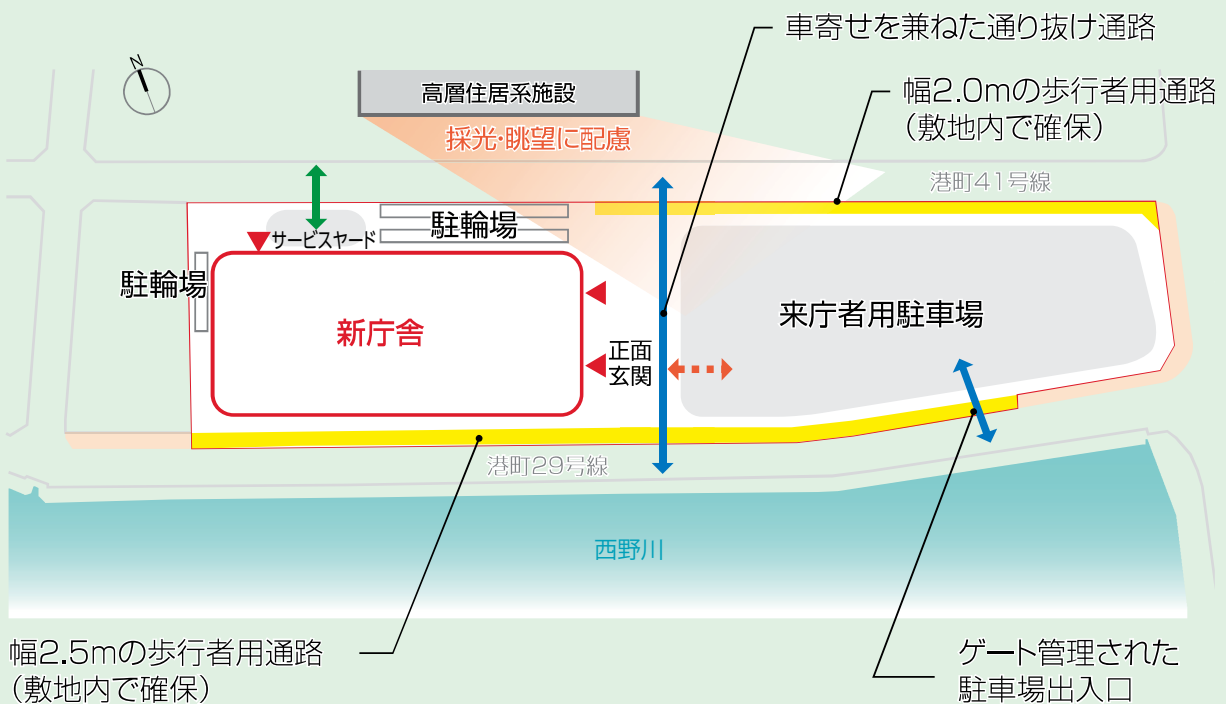
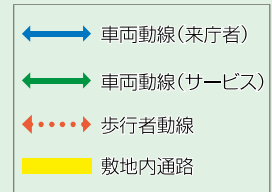


配置・動線計画

新庁舎は敷地西側に配置します。

来庁者用駐車場の出入口は南側に1カ所設置し、場内は一方通行とします。また、庁舎正面には車寄せを兼ねた車両通り抜け通路を計画します。

敷地内に歩行者用通路を設け、歩行者の安全に配慮します。



※基本設計とは・・・新庁舎建設基本計画に基づき、必要な機能や建物配置、空間の構成、デザインなどについてまとめたものです。今後、詳細な設計を行なっていく中で、内容を変更する場合があります。